

■尹東柱 詩人。日本の植民地下の朝鮮人に生まれ育ち、傑作詩集「空と風と星と詩」を編むも、治安維持法で獄死した。

ゆんどんじゅ

ロシア革命・1917=

中華民国北間島(白頭山北側の地域)の明東村で、尹永錫・金龍の子に生まれる。

同年生まれのいとこ宋夢奎と密に交流しながら育ち、

原敬首相暗殺1921= 4歳：

関東大震災・1923= 6歳：妹が誕生。

治安維持法・1925= 8歳：宋夢奎とともに、明東小学校に入学。

円本時代始・1926= 9歳：

金融恐慌・・1927=10歳：弟が誕生。

満州事変・・1931=14歳：卒業。宋夢奎とともに、近くの大拉子の中国人小学校6学年に転入。

五一五事件・1932=15歳：満州国建国で、北間島もその一部となる。一家で近くの町龍井に転居。宋夢奎と、恩真中学校に入学。

国際連盟脱退1933=16歳：もう一人の弟が誕生。

帝人疑獄事件1934=17歳：朝鮮平壤の崇実中学校3学年に転入人。宋夢奎が《東亜日報》に応募したコントが当選し、

芥川直木賞始1935=18歳：この年、宋夢奎は中国の南京にあった独立団体へ赴く。*1月1日号に掲載されたのに刺激され、自らの詩をきちんと残そうと、清書ノート《文藻》を始める。全朝鮮の中学生による同人詩誌を始める考えをもって訪れた日本人ながら半韓意識を持つ詩人上本正夫に知られ、「空想」が《崇実活泉》に掲載される。

二二六事件・1936=19歳：崇実中が神社参拝拒否問題で廃校処分となり、龍井に戻って光明学園中学校部4学年に編入。中国から戻った宋夢奎は、本籍地雄基の警察に拘禁、取り調べを受ける。その後も、要視察人として警察の監視対象となる。詩人鄭芝溶の影響で童詩を書くようになり、「ひよこ」にのみ昭和年号が用いられる。

日中戦争始・1937=20歳：このころ、光明中学のバスケットボール選手として活躍。

総動員+健保 1938=21歳：卒業、京城の延禧専門学校文科に入学。同校に入学した宋夢奎とともに寄宿舎に居住。入学直後に、制作の詩「新しい道」を皮切りに、

大政翼賛会・1940=23歳：延禧専門学校に入学してきた鄭炳昱と親交を結ぶ。梨花女専の協成教会にてケーブル夫人が指導した英語聖書班に通い、生きることの意味を理解。

日米開戦・・1941=24歳：鄭炳昱と寄宿舎を出るが、警察の監視が強まり、下宿転々。戦時学制短縮で3カ月繰上げ卒業。*「星をかぞえる夜」を最後に、卒業記念に、在学中に制作してきた詩を詩集にまとめる考えを、当初の「病院」という名を「空と風と星と詩」と改め、手書きで3部作製、李？(易にのぶん)河教授と鄭炳昱に1部ずつ進呈、

近代の超克・1942=25歳：渡日を前に、延禧専門学校に創氏改名届(日本名"平沼東柱")、現存する生前最後の詩「たやすく書かれた詩」には'恥ずかしい'の語。東京の立教大学英文学科に入学、沼田の陸軍病院に入院中の上本を見舞った後、京都の同志社大学英語英文学科に転入。この間、宋夢奎は病気療養と称して一時帰省し朝鮮情勢を探る。

創価学会検挙1943=26歳：*在京都朝鮮人学生民族主義グループ事件を策動した容疑で、京都下賀茂警察署に逮捕、拘禁され、直前に逮捕の宋夢奎とともに検察送り。自ら手元に残しておいた「空と風と星と詩」は警察に没収される。

年金+総武装 1944=27歳：京都地方裁判所で治安維持法違反により懲役2年の判決。未決拘留日数120日が算入される。宋夢奎は懲役2年の刑を受ける。福岡刑務所に投獄、独房に収容される。宋夢奎も同じく福岡刑務所送りとなり、

敗戦・・・・1945=28歳：獄中で没した。遺体引き取りに刑務所を訪ねた弟妹が宋夢奎に面会、訳のわからぬ注射を打たれたと聞かされたことから、人体実験の可能性も指摘されており、直後に、宋夢奎も獄死。

鄭炳昱に渡した1部が、鄭の応召後、家族の手によって、官憲の目を逃れるため、床下の甕のなかに隠し守られていたことが分かり、1948年に、遺稿31篇を集めた詩集「空と風と星と詩」が刊行され、1955年には、88篇の詩と5篇の散文を集めた「空と風と星と詩」となった。